



第4章

地域連携事業の方針と事業イメージ

4-1 連携事業の政策体系

三遠南信地域の目指すべき地域像を踏まえたテーマを達成していくため、5つの政策の基本方針を設けます。基本方針ごとに、推進方針、主要施策を掲げ、これらの政策体系に従って連携事業を積極的に推進します。

テーマ	政策の基本方針	推進方針	主要施策
三遠南信二五〇万流域都市圏の創造 —世界につながる日本の中央回廊—	中部圏の中核となる地域基盤の形成	人とものの流動促進	①三遠南信地域のゲートウェイの基盤整備 ②高原新定住圏の基盤整備 ③県境を越える三遠都市帯の基盤整備
		情報の流動促進	①中山間地域の情報基盤整備 ②県境を越える情報共有化の推進
	持続発展的な産業集積の形成	既存産業の活力増進	①人材・労働力の確保・育成 ②広域的な産業連携活動の推進 ③未利用資源の広域的な連携による有効活用の推進
		新規産業の創造と特徴ある産業クラスターの形成	①特徴ある産業クラスターの形成 ②コミュニティ・ビジネスの育成 ③県境を越える大学・研究機関連携組織の形成
	塩の道エコミュージアムの形成	塩の道エコミュージアムによる文化の発信	①歴史・文化資源の保全と風土記ネットワークづくり ②ものづくり文化の啓発と産業観光ネットワークづくり ③多様な自然資源の保全とやすらぎのネットワークづくり
		エコミュージアムのプラットフォームづくり	①エコミュージアムのプラットフォームづくり ②エコミュージアムの担い手づくり ③三遠南信地域ファンづくり
	中山間地域を活かす流域モデルの形成	自然資源の循環モデルの形成	①健全な水・物質循環を目指した環境保全活動の推進 ②森林資源の有効活用 ③新エネルギー導入の推進
		流域定住推進モデルの形成	①流域定住推進体制の整備 ②中山間地域での居住環境の確保
	広域連携による安全・安心な地域の形成	生活環境の維持と質的向上	①医療・福祉の連携 ②教育の連携 ③公共施設利用の柔軟性確保
		多文化共生の基盤づくり	①多文化共生の基盤づくり
		広域的な防災体制の充実化	①広域的な防災体制の充実化

4-2 個別政策の推進方針

基本方針1 中部圏の中核となる地域基盤の形成



人・もの・情報の流動を進めることで、「中部圏の中核となる地域基盤の形成」を目指します。

推進方針1 人とものの流動促進

三遠南信地域は、北陸圏と中部圏を結ぶ南北軸、首都圏、中部圏、近畿圏を結ぶ東西軸の連携を強化し、日本の中央回廊としての機能を強化します。また、圏域内においても、中山間地域の高原新定住圏、下流部の県境を越える三遠都市帯の創造により、中部圏の中核となる地域基盤の形成を図ります。

①三遠南信地域のゲートウェイの基盤整備

日本の中央に位置する三遠南信地域の機能を強化するために、三遠南信自動車道、第二東名・東名高速道路の整備や三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）構想の実現など、三遠南信地域と全国との人とものの流動基盤の整備を進めます。

事業イメージ

- ・ 太平洋地域と日本海地域を結ぶ機能として三遠南信自動車道の整備とそれに接続する(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路※構想の実現
- ・ 三遠南信地域と三大都市圏を高速で結ぶ第二東名高速道路の整備
- ・ 大伊勢湾環状地域を形成し三遠南信地域と近畿圏を結ぶ三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現
- ・ 三遠南信地域の北の玄関としてのリニア中央新幹線飯田駅の誘致
- ・ 三遠都市帯と三大都市圏を結ぶ新幹線停車の増便
- ・ 三遠南信地域と海外を結ぶ三河港、御前崎港と富士山静岡空港、中部国際空港等の整備や高速道路アクセスの促進による国際ネットワークの形成

②高原新定住圏の基盤整備

三遠南信自動車道を活用することにより、第二東名高速道路以北の中山間地域ゾーンと広域的なポテンシャルが向上する東名高速道路、第二東名高速道路周辺の新規ゾーンを一体化し、新たなライフスタイルを創造するため、高原新定住圏として必要な基盤整備を進めます。

事業イメージ

- ・ 圏域の重要な南北軸となり、一体的な振興発展に効果の高い三遠南信自動車道((仮)青崩峠道路等)の整備
- ・ 東三河縦貫道の整備や北設井桁道路など三遠南信自動車道へのアクセス道路網の整備
- ・ 三遠南信自動車道インターチェンジ周辺の地域整備
- ・ 中山間地域の就業・生活拠点となる第二東名高速道路インターチェンジ周辺の開発

※ (仮)浜松三ヶ日・豊橋道路は三河港と東名高速道路を結ぶ機能を持つ区間を想定します。

③県境を越える三遠都市帯の基盤整備

圏域南部の既存集積ゾーンと新規ゾーンを一体的なエリアとしてとらえ、県境を越える三遠都市帯を形成します。その中心となる豊橋・浜松両都市間のアクセシビリティ向上を図ります。

事業イメージ

- ・ 東名高速道路、国道1号・23号・150号・151号・473号バイパス等の活用により、複数の環状道路網がネットワーク化した豊橋・浜松環状道路の整備
- ・ 県境地域の経済と災害補完性を強化するための(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路の構想の実現と、浜名湖横断道などの構想の検討
- ・ 東名高速道路・第二東名高速道路の利用促進に向けたスマートインターの設置
- ・ JR東海道線の増便(浜松豊橋間)やJR飯田線の増便などの鉄道利便性の向上
- ・ 都市圏の中心部に位置し、交流や居住など多様な可能性を有する浜名湖ゾーンの活用

推進方針 2 情報の流動促進

県境を越える情報の共有化には大きな障害があり、相互の情報交換は余り進んでいません。特に、中山間地域の基盤整備を促進するとともに、圏域内の情報を共有できる広域連携を進め、県境を越える情報の流動促進を図ります。

①中山間地域の情報基盤整備

情報の不利益地域となりやすい中山間地域において、地上デジタルテレビ放送への対応やインターネット環境の改善を図るため、情報基盤の整備を進めます。

事業イメージ

- ・ 高速インターネットに対応できる情報基盤の整備
- ・ 地上デジタルテレビ放送に対応できるCATVなどの情報基盤の整備
- ・ 住民生活や企業活動、地域防災等への利活用に向けた国・民間企業等の高度情報基盤の整備とそのネットワーク化
- ・ 携帯電話不通話区域の解消
- ・ 情報基盤を活用した県境を越える中山間地域情報センターの設置

②県境を越える情報共有化の推進

県境を越えて生活情報を共有できるよう、新聞・テレビ等のマスコミによる県境を越えるメディア連携を進めます。

事業イメージ

- ・ 新聞社による「三遠南信版」の紙面確保
- ・ 県境を越える新聞報道の共同ポータルサイトの設置と情報交換
- ・ 県境を越えるCATVによる番組流通
- ・ 県境隣接地域での他県民間テレビ電波受信の緩和
- ・ 三遠南信地域を対象とした地上波テレビ局の創設

基本方針2 持続発展的な産業集積の形成



既存産業の活力増進を図るための人材・労働力の確保・育成や、未利用資源の有効活用を図るとともに、広域的な産業連携、大学連携等や海外・国内からの投資を促し、特徴ある持続的な産業集積の形成を目指します。

推進方針1 既存産業の活力増進

県境を越えた産業連携事業を通じて、人材・労働力の安定的な確保・育成や、未利用資源の有効活用等を進めるとともに、既存産業の活力増進に必要な産業機能等を海外・国内から誘導するための枠組みづくりを図ります。

①人材・労働力の確保・育成

地域から輩出される人材の地域還流化や外国人人材の定着化、国内外から専門的で質の高い人材や創造的な人材の確保を図るとともに、豊富な労働力が供給できる仕組みを検討します。

事業イメージ

- ・ 学生等の圏域内での定着に向けた県境を越えたインターンシップ制度の導入
- ・ 地域外に流出した地元大学出身者や企業退職人材の三遠南信地域への還流を促すプログラムの開発
- ・ 全国での共同就職ガイダンスの開催

②広域的な産業連携活動の推進

県境を越えた産業経済活動に係る情報の共有化を図るとともに、三遠南信地域内外の地方自治体、経済団体、大学との交流や、海外・国内からの企業を積極的に誘致し、既存産業の活力を増進します。

事業イメージ

- ・ 海外・国内からの企業投資等を促進するため、県境を越えた地方自治体、経済団体等の連携による企業誘致
- ・ 県境を越えたビジネスマッチングによる事業創出の支援
- ・ 海外・国内からの企業投資等の受け皿である産業基盤や優遇措置等に関する検討
- ・ 県境を越えた地域金融機関による産業支援活動のネットワーク化

③未利用資源の広域的な連携による有効活用の推進

地域から発生する廃棄物の適正な管理（3R：減量[容]化、再利用、再資源化）を進めるとともに、大学等と連携しながら廃棄物に含まれる未利用資源の有効活用に関する研究開発を進めます。

事業イメージ

- ・ 産学官の連携による産業廃棄物の有効活用事例、技術情報、リサイクル製品の認定情報等のデータベース化や3Rを促す共同研究
- ・ 圏域内における産業廃棄物等の不法投棄の監視、産業廃棄物処理体制づくり(ビジネス化も含む)等の検討

推進方針 2 新規産業の創造と特徴ある産業クラスターの形成

地域資源を活用したコミュニティ・ビジネスの育成、県境を越える大学連携組織の形成等により、新規産業の創造を図るとともに、産学官連携を強化し、特徴ある産業クラスターの形成を進めます。

①特徴ある産業クラスターの形成

国の地域産業施策を活用し、三遠南信バイタライゼーション協議会（浜松支部、東三河支部、飯田支部）や、はままつ産業創造センター、（財）浜松地域テクノポリス推進機構、㈱サイエンス・クリエイト、（財）飯伊地域地場産業振興センター等の産業支援機関の連携を強化しながら、産学官連携により、特徴ある知的・産業クラスターの形成を進めます。

事業イメージ

- ・ 三遠南信バイタライゼーション協議会における広域的な連携事業（全国の産業展示会における出展ブースの共同化、広域連携事業の促進等）
- ・ 産業支援機関等が実施する活動情報の共有化（ホームページのリンク等）
- ・ 特徴ある産業クラスターづくりを推進する県境を越えた事業連携（オプトロニクス（光電子工学）クラスター、航空宇宙産業クラスター、食農産業クラスター、農工連携、医工連携 等）

②コミュニティ・ビジネスの育成

中山間地域等の自立には、地域に根付いた小規模ビジネスの形成が重要であり、三遠南信地域内の先行事例を活かして、地域資源を活用したコミュニティ・ビジネスの育成を検討します。

事業イメージ

- ・ 地域住民、NPO法人等のビジネスの担い手や、大学、地域金融機関等が参画した三遠南信地域におけるコミュニティ・ビジネスに関する研究会などの設置
- ・ 事例研究、有効利用可能な地域資源の発掘、ビジネス研修等

③県境を越える大学・研究機関連携組織の形成

全国はもとより、世界の大学との連携により、知の拠点としての産業創造、地域づくり、人材育成・誘導等を図るとともに、地域企業や地域住民等との関わりを重要視しながら、県境を越える大学・研究機関連携組織の形成を進めます。

事業イメージ

- ・ 三遠南信地域内の大学・研究機関のネットワークを進めるための（仮称）三遠南信地域大学フォーラムの設置
- ・ 知の拠点としての国際的優位性を高めるため、静岡大学、豊橋技術科学大学、浜松医科大学等の大学連携による技術シーズや知的財産、人材育成等のイノベーションの創出
- ・ 研究者間の相互交流、単位互換、共同研究発表会、全国はもとより海外の大学との連携
- ・ 起業意識のある人材育成に向けた工科系・文科系の大学が連携したビジネス講座の開設
- ・ 特徴ある地域文化等を背景とした「地域学」やコミュニティ・カレッジ（公開講座）の開設
- ・ 圏域内の大学等をテレビ会議システムで結んだ双方向遠隔講義の導入

基本方針3 塩の道エコミュージアムの形成



三遠南信地域の歴史的な「塩の道」に沿った文化発信やプラットフォームを整備することで、「塩の道エコミュージアムの形成」を目指します。

推進方針1 塩の道エコミュージアムによる文化の発信

中世に起源を持つ民俗芸能等の歴史文化、天竜川・豊川の流域に広がる森林、浜名湖・三河湾・遠州灘等の貴重な自然、地域固有のものづくり文化など、多様な地域資源を活かして、地域の歴史・文化で培った「塩の道」に沿って、地域全体をエコミュージアムとして連携を図ります。

①歴史・文化資源の保全と風土記ネットワークづくり

三遠南信地域の民俗芸能をはじめとした特色ある歴史・文化資源を発見するとともに保全を図り、歴史や風土等をテーマとしたネットワーク化を進めます。

事業イメージ

- ・ 歴史・文化資源の保全と発掘のための三遠南信地域の文化財を指定する制度の創設
- ・ 民俗芸能の担い手確保や育成を支援する市民団体・NPO法人の広域的活動の支援
- ・ 地方自治体と大学等が一体となった歴史・文化資源の調査・研究・活用と公開講座等の啓発
- ・ 圏域内の美術館、博物館、図書館の交流と連携
- ・ 民俗芸能の維持・継続化や民話の伝承を総合的に支援する窓口の設置

②ものづくり文化の啓発と産業観光ネットワークづくり

本圏域のものづくりは地域の中で生まれ、成長を遂げた産業であり、三遠南信地域は現代日本を支えるものづくり文化を有しています。こうしたものづくり文化を世界に発信するために、産業観光拠点のネットワーク化を進めます。

事業イメージ

- ・ 三遠南信ものづくり文化を支える産業遺産、技能、技術の発掘と認定
- ・ 特徴あるものづくりのテーマ(農林業、楽器、バイク、自動車、精密、お菓子等)をネットワーク化した産業観光街道づくり
- ・ 小・中学生等将来の人材育成や国内外のビジネスマン等グローバルな連携の契機となる産業観光づくり
- ・ 見せる工場づくりに対する支援制度(施設・設備等への助成)の創設

③多様な自然資源の保全とやすらぎのネットワークづくり

流域圏に存在する多様な自然・生態系を保全し、温泉、食材等の豊かな自然がもたらす固有資源を活かした「心と体」のやすらぎネットワークづくりを進めます。

事業イメージ

- ・ 流域圏固有の自然・生態系(天竜川・豊川と上流の森林、浜名湖、三河湾、遠州灘等)の保全と、環境学習プログラムやエコツーリズムの開発
- ・ セラピー効果のある森林、温泉等を活かした健康づくりに着目した観光開発と、地域医療機関や医療関連先端技術企業との連携
- ・ 地域食文化や豊かな地域食材の地産地消を推進する店舗との連携

推進方針 2 エコミュージアムのプラットフォームづくり

歴史・文化、ものづくり文化、自然など、多様な地域資源のネットワーク化を推進し、エコミュージアムの担い手の育成・確保や、三遠南信地域ファンの拡大を目指したプラットフォームの形成を図ります。

①エコミュージアムのプラットフォームづくり

歴史・文化、ものづくり文化、自然など多様な地域資源のネットワークを形づくるために、エコミュージアムの土台となるプラットフォームづくりを進めます。

事業イメージ

- ・「塩の道」を日本風景街道として活用・発信するためのNPO法人等の体制づくり
- ・三遠南信デジタルアーカイブの整備
- ・道の駅を利用した三遠南信地域情報ネットワークの整備
- ・サイクルトレインのJR 飯田線・天竜浜名湖線への導入、豊橋市の路面電車、佐久間レールパーク等の鉄道資源を利用したイベントの開催など地域の鉄道の活用

②エコミュージアムの担い手づくり

観光客の地域文化に対する理解を支援するために、観光ガイドなど担い手の確保・育成を進めます。

事業イメージ

- ・観光振興に関連した組織の連携と、観光ガイドの確保(団塊世代の採用等)
- ・県境を越えた交流と情報の共有、研修による広域観光に対応できる観光ガイドの育成
- ・タクシー会社をはじめとする観光関連産業と観光ガイドとの連携

③三遠南信地域ファンづくり

三遠南信地域の情報発信力を高め、地域固有の商品・サービスの提供を図ることにより、三遠南信地域のファンを拡大します。

事業イメージ

- ・浜松市、豊橋市、飯田市等の圏域内の拠点都市の中心市街地や、東京など大都市部での三遠南信アンテナショップの開設
- ・三遠南信地域全体を対象とした広域観光マップの作成
- ・特産品を組み合わせた商品開発や、ネット販売機能の環境整備

基本方針4 中山間地を活かす流域モデルの形成



自然資源の循環や流域での定住化等の推進を図り、中山間地を活かした新しい地域発展のための流域モデルの形成を目指します。

推進方針1 自然資源の循環モデルの形成

森林資源等の自然資源の維持・保全に向けて、市民団体等を交えた広域的な環境保全活動等を進めるとともに、地域の自然資源を活用した独自の循環型モデルの構築を図ります。

①健全な水・物質循環を目指した環境保全活動の推進

流域圏の健全な水・物質循環を構築していくため、水資源確保や水質改善活動等の広域的な連携活動を進めます。

事業イメージ

- ・産・学・官・民が参加した県境を越えた「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクト(遠州灘海岸の侵食防止、天竜川ダム再編事業、設楽ダム建設事業、浜名湖・三河湾の水質浄化活動、住民参加型の水質浄化に関する行動計画づくり等)の推進
- ・三遠南信地域の環境保全・保護団体等の情報交換

②森林資源の有効活用

森林資源に着目し、新しい技術導入等を図りながら、新たな事業や適正な森林管理を行える環境整備を進めます。

事業イメージ

- ・上下流域の住民の協働による森林の保全
- ・生産効率の高い伐採・搬出技術についての情報交換、地元企業や大学との共同研究
- ・公共事業等を契機とした森林資源の有効活用事業(木質バイオマス利用等)
- ・環境共生型住宅の普及啓発
- ・公共事業への地域材の積極的な活用、地域材を利用した住宅建築に対する支援制度の充実化による地域材の市場開拓
- ・県境を越えた林業関係者の情報交換による広域的な森林管理、森林資源活用
- ・地域文化と連携したチェーンソーアート活動の広域化
- ・間伐など森林整備の財源確保を目的とした森林税の有効活用
- ・国、県、市町村の連携による鳥獣害対策の実施

③新エネルギー導入の推進

地域の生活環境、自然環境、景観等に配慮しながら、自然エネルギーの導入を推進するとともに、バイオマスを利用したエネルギー開発に関する研究開発を進めます。

事業イメージ

- ・地域の環境・景観等に配慮した太陽光発電、風力発電等の自然エネルギーの導入
- ・家畜排せつ物、林産廃棄物、下水汚泥等を活用したエネルギー等の研究開発

推進方針 2 流域定住推進モデルの形成

流域圏の豊かさを活用した流域定住を促進するため、下流域都市住民の中山間地域定住要望と上流域の受け入れ供給を円滑に結びつける体制を検討し、集落の生活及び居住機能を確保するための公共サービスの強化や、高原新定住ゾーンにおける流域定住推進モデルの構築を図ります。

①流域定住推進体制の整備

下流域都市住民の意向と上流域の状況を把握し、流域定住を推進する地域モデルを構築するため、上流域と下流域の自治体が連携して流域定住の推進体制の整備を進めます。

事業イメージ

- ・ 流域定住や二地域居住を進めるための総合的な相談窓口の設置、居住体験が行える施設の整備、生活に関連した情報を円滑に提供できる仕組みづくり
- ・ 受け入れ地区住民の意識調査等による空き家・貸し家・遊休施設等の施設利用情報のデータベース化
- ・ 長期滞在者向けの旅館利用や滞在施設(廃校、旧役場、空き家等)の整備
- ・ 空き家、貸し家、遊休施設等の仲介に対する不動産会社等の民間企業への協力要請
- ・ 耕作放棄地や遊休施設に関心を持つ企業への施設・用地紹介や情報提供
- ・ 遊休施設を社員保養施設として利用したい企業への支援

②中山間地域での居住環境の確保

中山間地域での生活及び居住機能を確保するため、集落間を結ぶ生活道路、情報基盤などの公共施設整備を検討するとともに、医療、教育などの基礎的な公共サービスを充実します。

事業イメージ

- ・ 三遠南信自動車道のインターチェンジと周辺集落を連結するアクセス道路、生活道路の整備
- ・ 情報化時代に適合した情報基盤の整備
- ・ 基幹集落を中心とした生活機能(医療、教育、公共交通機関等)の整備と強化
- ・ 地震など災害への対応を考慮した集落の連携
- ・ まちづくりの連携に向けた上下流域での友好地区の募集と活動支援

基本方針5 広域連携による安全・安心な地域の形成



医療・福祉や教育の充実、外国人との多文化共生、防災対策など、住民の生活環境の維持と向上を広域連携によって推進し、安全・安心な地域の形成を目指します。

推進方針1 生活環境の維持と質的向上

暮らしの安心・安全に向けた医療・福祉サービス、教育環境の充実や、公共施設の利便性向上を進め、生活環境の質的向上を図ります。

①医療・福祉の連携

医師不足への対応や地域医療、地域福祉の充実を目指して、県境を越えて広域的に連携することにより、安心できる医療サービスやきめ細かな福祉サービスを提供します。

事業イメージ

- ・医科大学と三遠南信地域自治体との連携
- ・休日診療、夜間診療の連携を図るための隣接県の医療施設の利用とその情報発信の県境を越えた連携
- ・ドクターヘリの県境を越えた活動を支える中山間地域での中継基地(燃料補給等)の設置
- ・情報通信技術を活用した遠隔地医療診断
- ・保健医療計画、福祉計画(高齢者・障害者・母子保健等)の県境連携
- ・県境地域の高齢者福祉施設の広域利用

②教育の連携

教育環境を充実するため、県境を越えた教育連携を進めます。

事業イメージ

- ・県境隣接地域に位置する県立高等学校の越県入学枠の拡大と、県境を越える高校受験情報の共有化
- ・総合学習等への市民参加による多面的な人材活用
- ・三遠南信地域を取り上げた総合学習
- ・三遠南信地域における各種スポーツ大会の開催
- ・三遠南信地域の子どもの交流を促進するための交流プログラム開発(セカンドスクール事業等)

③公共施設利用の柔軟性確保

公共施設の利便性向上のため、公共施設に係る情報連携や、公共施設の広域的な利用を進めます。

事業イメージ

- ・公共施設の県境を越えた利用を促進するポータルサイトの構築
- ・公共施設の三遠南信地域内住民に対する利用制限の撤廃と、自地域住民並の利用料金の設定

推進方針 2 多文化共生の基盤づくり

日系ブラジル人や中国人をはじめとする外国人住民や企業の国際化に伴う帰国子女の増大に対応して、異なった文化的背景を持つ人々が共生できる地域社会をつくります。また、外国人が集住している地域の特徴を活かし、圏内の都市や外国人集住都市会議に加盟している都市などと連携し、国や県などに働きかけ、法律や制度の整備を図ります。

①多文化共生の基盤づくり

外国人の社会参加の促進、就労・教育機会の充実、住民と外国人が交流できる地域コミュニティの形成、圏内の都市や国内外の都市とのネットワークを活かした地域づくりを企業・住民・行政が力をあわせて進めます。

事業イメージ

- ・外国人の児童・生徒に対する日本語学習支援や母国語による学習支援等の充実や、外国人学校への支援
- ・帰国子女や外資系企業の子弟教育のためのインターナショナルスクールの設置
- ・日本とブラジル等を結ぶ国際ビジネスに対する起業サポート
- ・外国人の生活基盤を整えるための多文化共生ソーシャルワーカーなどの育成や支援
- ・災害時に備えて、外国人住民に向けた案内の翻訳や通訳業務等に対する都市間連携による体制の整備
- ・外国人の子どもの高校や大学などへ進学に向けた支援体制の強化

推進方針 3 広域的な防災体制の充実化

「三遠南信災害時相互応援協定」に基づいて、災害から住民の生命、身体、財産を守るため、県境を越えた防災体制の整備を図り、平常時から、連絡会議の開催や訓練を実施するなど、緊密な協力体制の確立を目指します。災害発生時には隣接県や被災地域外からの応援を円滑に受け入れる体制の整備を図ります。

①広域的な防災体制の充実化

広域防災相互協力体制を強化し、各都市相互の情報の交換、職員等の交流、防災に関する相互協力を進めます。

事業イメージ

- ・医療機関、民間企業、防災NPO法人等の参画と広域連携
- ・「三遠南信災害時相互応援協定」における災害廃棄物の相互処理などの必要な項目の追加
- ・広域防災拠点の連携を強化するための港湾機能や緊急輸送路等の整備
- ・地域の消防力・防災力の相互協力のための消防活動の広域連携